

記 者 提 供 資 料
2025 年(令和 7 年) 4 月 22 日
文化・スポーツ室 歴史文化財担当 (担当:稲原・下城)
電話:918-5629 (内線:7545)

瀬戸川流域の新発見の遺跡について

〈魚住町西岡－飛鳥～平安時代の建物跡〉

〈魚住町清水－弥生時代前期の集落跡〉

このたび、宅地造成工事に伴って、2024(令和6)年 10月から2025(令和7)年3月にかけて行われた発掘調査で、飛鳥時代から平安時代にかけての建物跡と、多くの出土遺物が見つかりました。

調査地は明石市魚住町西岡 字 御 屋敷 に所在しており、薬師院(ぼたん寺)の北約 300m、標高は約6mを測る、瀬戸川左岸の段丘 縁辺 部に立地しています。

薬師院は、8 世紀初めに行基が「関伽 寺」として開山し、9 世紀末には 七堂 伽 藍 や20余りの 坊舎 を備えた大寺院だったと伝えられています。

調査面積は約2060 m²です。調査区の北端と中央部、東端において、それぞれ7～11世紀に相当する掘立柱建物跡が、確認できるだけで 6 棟見つかりました。

7 世紀の遺構としては、調査区東端において東西に 2 間(約3m)、南北に 3 間(約4.5m)以上とみられる 総柱 建物が 1 棟見つかりました。柱 穴 埋 土 からは須恵器 杯、土師器 片が出土しています。

8～9 世紀の遺構としては、建物跡と溝があります。建物跡は調査区北端において東西に 2 間(約 3m)、南北に 3 間(約 5.4m)以上の建物と、調査区東端において東西に 2 間(約 3.6m)、南北に 3 間(約 5.4m)以上の総柱建物が見つかりました。また、溝からは 9 世紀代の須恵器、鉄 鉢形 須恵器、飯蛸壺などの土師器や瓦が出土しました。特に瓦の中には続播磨国府系瓦の 毘沙門式 軒 平 瓦 も含まれています。また、伝世品としては法隆寺や正倉院に数例がありますが、遺跡から出土することは珍しい 佐波理 碗 (銅 碗)も、その破片が見つっています。

10～11 世紀の遺構としては、調査区中央部において東西に 2 間(約 4m)、南北に 3 間(約 6m)の建物が 3 棟見つっています。

今回の調査結果からは、当地には 7 世紀中頃には、瀬戸川河口にあった港に関わる倉庫のような施設が存在し、続く 8～9 世紀代にも、掘立柱建物や鉄鉢形須恵器、瓦などの遺物が確認されており、寺に関連する建物が立っていたと考えられます。伝承に残る関伽寺の施設の一部であったことが伺えます。その後、10～11 世紀の遺物や建物跡も見つかり、継続して当地が利用されていたことがわかりました。

『続日本紀』には、726年に聖武天皇が明石に行幸した際に設けられた^{おうみの} 邑美^{かりみや} 頓宮の記載があります。この頓宮の所在地についてはこれまで、^{うまや} 駅家の遺構が確認された魚住町の長坂寺遺跡に充てる説が有力でした。しかし今回、瀬戸川河口部において、この時期の建物等が発見されたことにより、調査地周辺に頓宮が設けられた可能性も浮かび上がってきました。今回の調査では、古代の明石の瀬戸川河口部の様相を知る上できわめて貴重な発見となりました。

また、令和7年1月から4月にかけては魚住町清水字^{おうかん} 往還西で宅地開発に伴う発掘調査を実施しており、弥生時代前期(紀元前8～4世紀頃)の建物に伴う柱穴や溝と、弥生時代後期(1～3世紀頃)の竪穴住居が見つかりました。これまで瀬戸川流域では弥生時代後期の竪穴住居は数棟見つかっていましたが、前期にさかのぼる遺構、遺物の発見は初めてとなり、当地が古くから人が居住していた場所であったことが明らかとなりました。

なお、出土した遺物の一部と遺跡のパネルは、魚住文化財収蔵庫にて「瀬戸川流域の遺跡展」【5月15日(木)～6月29日(日)】にて、他の遺跡の出土品と共に展示します。(休館日：月曜日、日・祝日：開館)。



御屋敷遺跡 第1地点 調査区北部 8世紀の掘立柱建物跡（西から）



調査区中央部 10～11世紀の掘立柱建物跡（北西から）



御屋敷遺跡 第1地点 調査区東端 7世紀と8～9世紀の建物跡 遠景（西から）



調査区東端

7世紀の掘立柱建物跡(右側の2段下げの柱穴9基)

8～9世紀の建物跡(左側の柱穴群)

近景（北西から）



御屋敷遺跡 第1地点 出土遺物（飛鳥時代～平安時代）



外側



内側



上側

銅碗（口縁上部に溝状彫り込み）



御屋敷遺跡出土 須恵器（飛鳥時代）



須恵器（奈良時代）



須恵器（平安時代）



土師器（奈良～平安時代）



瓦（平安時代）



続播磨国府系軒平瓦(毘沙門式)



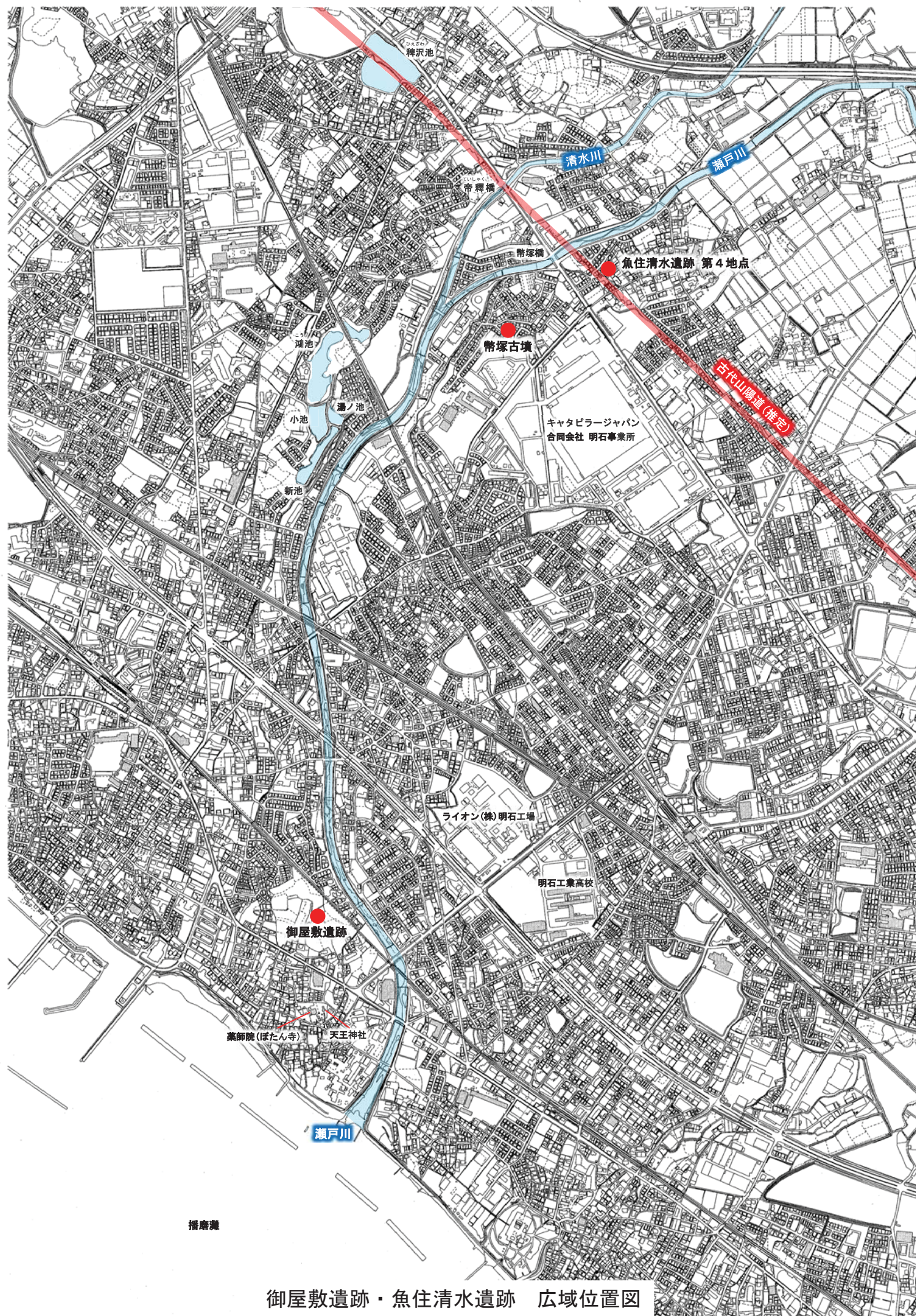
魚住清水遺跡 第4地点 弥生時代前期の柱穴群（北から）



弥生時代前期の甕



弥生時代後期の竪穴住居跡（北から）



御屋敷遺跡・魚住清水遺跡 広域位置図